

授業科目

運動機能解剖学

担当教員名 阿部 薫	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎				

授業の概要

四肢・体幹の機能解剖学として、筋の起始・停止、作用、および神経支配を学習する。

授業の目的

関節運動を理解するために、主動作筋の起始・停止・走行・作用を理解する。

学習目標

1. 機能解剖学の基本的事項について説明できる。
2. 四肢の筋の起始・停止、作用、および神経支配について説明できる。
3. 体幹の筋の起始・停止、作用、および神経支配について説明できる。
4. 四肢・体幹の動きの分析について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	機能解剖学の基本的な知識	講義	阿部 薫
2	肩甲帯	講義	阿部 薫
3	肩関節	講義	阿部 薫
4	肘関節と橈尺関節	講義	阿部 薫
5	手関節と手 1	講義	阿部 薫
6	手関節と手 2	講義	阿部 薫
7	上肢の動きの分析	講義	阿部 薫
8	股関節と骨盤帯 1	講義	阿部 薫
9	股関節と骨盤帯 2	講義	阿部 薫
10	膝関節	講義	阿部 薫
11	足関節と足 1	講義	阿部 薫
12	足関節と足 2	講義	阿部 薫
13	下肢の動きの分析	講義	阿部 薫
14	体幹と脊柱	講義	阿部 薫
15	体幹の動きの分析	講義	阿部 薫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	身体運動の機能解剖 改訂版	クレム・W. トンプソンほか	医道の日本社	2002年	4,300円+税	ISBN : 9784752930631
参考書						
その他の資料						

評価方法

小テスト、期末試験

履修上の留意点

義肢装具および福祉機器・用具を理解する上で、基本となる重要な分野のため、よく復習し、完全にマスターすることが望まれる。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜3限、連絡先：メール kao-abe@nuhw.ac.jp、電話025-257-4525(L302研究室)